

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



# スカウト みやぎ

No.17

発行  
日本ボーイスカウト宮城県連盟  
発行日  
平成20年3月31日



## スカウトセミナー開催

石巻地区アダルトリソース委員長 大沼 知光

2月17日(日)石巻市「こもれびの降る丘遊学館」において、平成19年度宮城第4期指導者講習会が開催されました。

今回の講習会は来年度より“愉快的活動「ハイキング」”等が加わり、セッション内容が変わるとい

うことで、新しいセッション内容を主任講師 佐藤 友秀(日連リーダートレーナー)、講師 中橋 邦

(日連リーダートレーナー)、千葉県コミッショナー、県トレーニングチーム員全員にて、参加者が

「楽しく、わかりやすい講習会」であったとの評価をもらえるようにと、スカウト活動の映像を流し、活動パネルなどを展示し、開講式が始まるまでBGMとして連盟歌「花はかおるよ」を流す等の工夫もなされ、各セッションを確かめ合いながら、節度ある和やか雰囲気の中で進めることができました。

受講者は、石巻第1団、石巻第2団、石巻第6団、涌谷第1団、仙台第30団と計13名の参加をいただきました。



## 「より良いスカウティングをより多くの青少年に」

平成 20 年 1 月 19 日（土）県連事務所にて  
出席者（敬称略）



ボーイスカウト宮城県連盟  
理事長 千田好男  
ボーイスカウト宮城県連盟  
副理事長 芳賀文蔵  
ボーイスカウト宮城県連盟  
泉第 1 団 砂押名湖  
ボーイスカウト宮城県連盟  
広報委員会 委員長 堀越祐寿

**堀越広報委員長** 先日京都方面を旅したおり、北野天満宮の境内でボーイスカウト募集の常設看板を見たので社務所を訪ねて禰宜の湯浅典男氏とのお話でもやはりスカウトの減少を語っておられましてついつい共通の話題となりましたが、

**千田 理事長** 県連盟としても、平成 16 年度の時点から重点目標として各団入隊者 5 名、退団 0 を掲げ努力を続けましたが現在までには成果を見るに至っておりません。

**芳賀 副理事長** やはりボーイスカウトの名前が広く知られているわりには 100 年も続く歴史とか活動については関係者以外の方々に理解されていない面がまだまだ多いことです。私を含めてこの運動を誇りと自信を持ってもっと広く多くの活動で PR の努力が必要だとのことなどから先程の京都の神社のように人の集まる場所や公園などに常設掲示板の設置も効果的だと思う。

また、募金活動や祭など地域の活動の時もだれでもが参加出来るスカウトとしての活動が理解されるよう行動するようになりたい。



**千田 理事長** スカウトは礼儀正しいとする『ちかい』と『おきて』などについても、もう一度多くの方々に分かりやすく理解を広める努力の必要が有るのではないかと。

**砂 押** 私の子供の場合ボーイスカウトのことが分かってかどうかのビーバーの頃は恥ずかしがり屋で、よく泣いたりしていましたが、次第に集会に出て学校以外での友達ともボーイスカウトでの楽しみからか、毎回の活動には休まず出ていました。



今でも思い出すのは、カブの制服を初めて着た時のその嬉しそうな笑顔の写真がありますが、カブのチャレンジブックを台所に置いては私も暇を見ては目を通していました。

学校の・題もありましたが、スカウト活動についてもよく話し合いができたことは、子供の多・な年頃の時に・子で一・にボーイスカウトの事を話したり出来たことはとてもよかったと

思います。

**堀越広報委員長** 特別のことではなくごく当たり前の事が楽しくできるビーバーからカブそしてボーイへと成長するその過程は、私も隊長経験でとても楽しみでしたが、どうでしょう理事長最近のスカウトの姿を見ての感想は。

**砂 押** ちょっともう一言。

子供はどんどん成長してボーイスカウトへ上進して一時部活動との両立が困難となりかけたりもしましたが、私も隊長に助言を頂いたりしましたが本人は止めたいとは言いませんでした。隊長からの声掛けがあったのかもしれませんが。

**千田 理事長** そのことなのです。良き指導者に巡り会えたということとプログラムの組み立てが良かったことでスカウトが集会を楽しみにしていた成果でしょう。

スカウトが喜んで参加し次の集会が待ち遠しいプログラムを作る工夫がリーダーそれぞれに求められることで、県連盟の組織としても重点としていることです。

**芳賀 副理事長** 真剣に指導するリーダーの姿と単発的というか見栄えの好いだけの事は、子供たちには直感で分かりますからね。単発ではとても達成できない事で砂押さんの今のようなお話実体験こそが父母父兄の口コミでもって語られることこそスカウト活動、運動を広めることの原点だと思います。



**砂 押** 子供は昨年石川県輪島市の高校へ進学、寮生活ですが彼の荷物の中に入っていたボーイスカウトの本を目にした時は驚きそして大きな喜びを覚えました。学校の毎日の中でも、スカウトのおきての心で進んでくれるものと信じています。学業の基本学科のような、すぐにも結果は見えなくともスカウトとしての想い。彼にとっては人生の一貫教育であったはず。“継続は力なり”を実感している今です。

**堀越広報委員長** とても身近と言うか、そうか、そうかという思いのここで、理事長にこの2号に亘る座談会の締めくくりを。

**千田 理事長** 大変に基本に立ち入ってのお話しに心から御礼申し上げます。ここで特に申し上げるとすれば、少年期の発達段階の全人教育のボーイスカウトを考えると、やはり『ちかい』・『おきて』そこにつながるスカウトとしての『規律』や『礼儀』スカウトらしさの中の行動が広く地域社会の共感を受けることと信じています。

かねて宮城県連盟村井嘉弘連盟長がボーイスカウトの初の正装での三指の敬礼にしばらくのスカウトとしてのスマートネスの心がこもる事と感じた次第です。

これからも宮城県連盟のスカウト運動推進のために、そして『より良いスカウティングをより多くの青少年に』の達成のために協働していくことを誓い合うことといたします。

ありがとうございました。



# 関心を持たせ、そして実践へ

— 浦山先生の実践から —

多賀城第2団 CS隊長 郷古 萬里子

開催日：平成19年1月12日 塩釜公民館本町分室 東部地区協議会開催

講演「本当に子供は天真爛漫か・・・学校現場に見る子供たち」

(講師：教育庁生涯学習課 社会教育主事 浦山正幸先生)

講演は、塩釜第二小学校における浦山先生の実践報告を中心に行われました。久しぶりに子供の教育に関する講演を聞く機会に恵まれ、スカウト活動にも導入できる内容で、大変参考になりました。

はじめに、「みやぎ新時代教育ビジョン」の中の“主体的に考え生きる人づくり”を目指すために、どう授業を展開していったかを話されました。「はじめよければすべてよし」で、“おもしろそうだ”という興味を持たせることが大事で、更に体験によって物事を学ばせていくということでした。

浦山先生の実践例として、「信長、秀吉、家康、政宗が夢見た天下への道」を調べて、戦国の世の統一を考えさせる授業について話されました。

まず、戦国時代の群雄割拠の地図を見せながら、いろいろな戦国大名がいたことに関心を持たせます。その上で、江戸時代の領国地図と比較させながら、



その変化に気付かせて関心を高め、「どのように戦国の統一がなされていったか」を考えさせます。戦国武将の考えや行動から、歴史や

伝統を大切にしたいという気持ちを芽生えさせ、楽しく歴史を論じ合うことで、歴史を楽しませるといふことでした。



他にも花山自然の家での自然教室の実践、アメリカでのボランティア研修や小学校での英語教育の実践、塩竈の歴史を学ばせる実践など聞くことができました。

ボーイスカウトの指導者として、事前の準備、その日の導入方法、ひとり一人のスカウトのレベル等々、緻密に計画し実践しているだろうか、と反省させられます。とにかく、“ボランティア”でやっているのだからと、いい加減な気持ちになったり、逃げ腰になってしまう自分の姿があります。浦山先生には及びませんが、スカウトの指導について、もう少し真剣に考えていかなければならないと強く感じました。

浦山先生の実践をふまえた密度の濃いご講演に、心から感謝致します。

## 仙台地区創立40周年記念大会は松島自然の家に決定

仙台地区広報委員会 柿沼 富雄



第8回仙台地区キャンポリー記念大会開催が、今夏・7月31日～8月3日迄、海の香りと木々の緑に包まれた奥松島のアウトドアゾーン・

松島自然の家で実施されます。

実行委員会では、2月24日、野中会長他10名が3台の車に分乗して下見を実施。現地では職員の案内で、第3・第4キャンプサイト・トイレ・シャワー室・炊事場・ゴミの分別場所・炊具の確認等をし、次に部屋に入り、舎営のた

めの諸注意点について説明を受けた。安全を第一に、そして楽しい思い出が残る大会を目指している我々実行委員会。渡辺副委員長が、細部にわたり質疑をした。

また、夕方暗くなるのを待って、夜のテントサイトの、照明の位置・明るさ等を確認。

やはり事故のない大会を運営するためには、もう一度下調べをしに来ようと約束して下見を終了した。



## スノーキャンプ2008



スノーキャンプで楽しかったことは、沢山あっても良い経験になりました。ぼくの中で一番楽しかったのは、ピザ作りです。ココアの粉を入れすぎて美味しいピザはできませんでしたが笑いがとれてよかったです。

石巻第6団 木村 利輝



## オールドスカウトB-P祭に集う

2008年2月22日、ボーイスカウトの創始者ベーデン・パウエル卿の151回目の誕生日に、50～60年前にボーイスカウトに入団し活動していた、かつてのスカウトがB-P祭を祝おうと久しぶりに集った。参加者は11名（仙台第1団6名、第8団1名、第18団1名、第20団2名、第25団1名）。昔は盛大にB-P祭を祝ったもんだなあと、当時の話に花を咲かせた。

また、スカウト時代に経験した山中湖での特訓、日本ジャンボリー、世界ジャンボリー、アメリカでのジャンボリーへの参加などの楽しい思い出話になった。我々はその後残念ながら就職・転職等で退団したが還暦も過ぎ余暇も出来たので、この楽しかった経験を後

仙台中央スカウトクラブ会長 渡辺 光一郎

輩にも味わってもらえるよう、今後はスカウトクラブへの加入等を通じて、「スカウト活動へ協力しましょう」と盛り上がり、再開を誓って閉会しました。



## 雪はともだち

2月16・17日の両日、1泊2日の日程で平成19年度岩沼第1団のスキー訓練が、ビーバー隊・カブ隊・ボーイ隊の参加で、総勢38名が参加して泉が岳スキー場で開催されました。

当日は、積雪の状態も申し分なく、最高のスキー日和となりました。スキー場に到着するや、スカウト達はインストラクターやリーダーの指導で元気にスキーやそり遊びを開始し、無事第1日目の日程を終了しました。

夕食後、ゲームやマジックショーなどで楽しいひとときを過ごし、心地良い疲れに何時しか夢の国へ・・・。

翌日もスバラシイ天気。前日、スキーがあまり出来なかったスカウト達も元気にスキーに挑戦

岩沼第1団ビーバー隊長 佐藤 光廣

して、何とか滑れるようになりました。スカウト達は、『為せば成る』ということをも身をもって体験できたものと思っております。これで、このたびの活動の目的が達成できたことの喜びを噛みしめています。



## 楽しかったよ！新春のつどい

泉第1団BVS隊（ビックビーバー） 星 隼人



1月6日（日）桂市民センターで、団のみんなと「新春のつどい」をしました。

羽子板を作って、色を塗りました。「学校を休まない」と、目標

を書きました。それから、みんなで遊びました。楽しかったです。

その後、みんなで七草粥を食べました。ぼくは、全部残さないで食べることができました。また来年も食べたいです。

今年もビーバー隊でがんばります。



## たこあげ

石巻第2団BVS隊 伊東 龍之介

僕は、2月17日ビーバー隊の活動で、自分でたこを作ったたこあげをしました。たこあげをすると聞いた時から、僕はとても楽しみにしていました。なぜならお正月に家で出来なかったからです。



たこあげの日は、寒かったけどとてもいい天気でした。たこには、僕の大好きな帆船を思いきり上手に描きました。お兄ちゃんにもおみやげで、

たこを作ってあげました。

作ったたこは、公園であげました。風が吹いて僕の帆船のたこは、青い空に高くあがりました。途中で僕は糸をはなしてしまい、あぶなくどこかに飛ばされそうになりました。でもちゃんとつかまえて、ほっとしました。

いっぱい、いっぱいたこが上がって、本当に楽しかったです。



## ボーイスカウト白石第1団スキー教室

白石第1団ボーイ隊副長補 佐藤 慶太

毎年恒例である白石1団のスキー教室が、2月10日、白石スキー場にて開かれました。現在私は21歳になりますが、まだ中学1年生だった頃より続いている伝統行事となっています。指導して頂く側であった私も、ここ2、3年は指導者として参加しています。

さて、当日の天候は曇りでしたが、風もなく、暖かい穏やかな一日となり、スカウト達がスキーを楽しむのに適した天候でありました。私は主に初級者を担当したのですが、午前と午後では見違えるように上達し、自分で曲がれるようになりました。子供のの上達速度には驚かされるものがあります。

スカウト達は、思う存分スキーを楽しんでいたようで、また来たいかと問うと、ほとんどのスカウトが、また来たいという答えが返ってきました。子供達が楽しめたようで、私としても非常に良いスキー教室であったと思います。



## たのしかったスキーきょうしつ

塩釜第1団BVS隊 よしだ れん

ぼくは、ビーバースカウトでスキーをしました。バスにのって、スキーをすべれるかなあとおもいました。でもすべれました。スキーでころんだけどたのしかったです。リフトを3かいものって山のちょうじょうまでいきま

した。2かい目のリフトは、はやくてたかいところまでいきました。1かい目や3かい目とかよりずっとはよかったです。2年生や3年生になったらもっとがんばりたいです。

## ボーイのみんなでいった、たのしいスキー

塩釜第1団BVS隊 木村 しんご

ボーイのみんなで、大がたバスにのって、おとまりスキーにいきました。リフトにのって、山の上まで行って、モンスターを見ました。モンスターはおじぞうさんやかいじゅうのかたちをしていておもしろかったです。いつもいくビーバーのひみつきちには、ことしはいけなくて、とってもざ

んねんでした。れんくんにおしえてあげたかったのに。

なんかいもリフトにのって、上まで行って、少しころんだけど、スキーで下まですべってこれて、すごくきもちよかったです。カブのみんなと、スキーできょうそうしたら、ぼくは、3ばんだったけど、すごくたのしかったです。スキーじょうのごはんもおいしかったです。もっとスキーをしたかったのに、かえるじかんになってしまいました。とてもざんねんでした。こんどもまたみんなでスキーにいきたいです。

こんどはカブのみんなときょうそうをしてぜったいにいちいになりたいです。たいちょうに本をよんでもらいました。れんくんとおふろにはいりました。すごくきもちよかったです。



## スキー訓練

塩釜第1団カブ隊 くま 鹿野 晃弘

塩釜第1団では、毎年1ぱく2日、蔵王のライザスキー場でスキー訓練があります。ぼくは、ビーバー隊の時から毎年参加しています。

今年は、いつもより雪が少なかったです。けど、すべりやすかったです。リフトを2本乗りつぎ、樹氷を観賞しました。2日間で3回見ました。1日目は晴れていて、とてもきれいに見えました。2日目は、スキー訓練に参加しているみんなで樹氷を見に行きましたが、曇っていて、登るにつれて、雪が強く降ってきました。樹氷のところで、スキー板を外して記念写真をとったり、ミカンを食べたりしました。ミカンは冷たくておいしかったです。2日目グループで訓練をしている時、きりで遠くがあまり見えにくかったりしました。最後に樹氷を見に行くときは、ちょっと心配しまし

たが、少し晴れていてよかったです。

来年のスキー訓練の時、ぼくはボーイ隊ですが、休まないで、けがをしないようにがんばりたいです。



## 仙台30団・35団B-P祭開催

仙台第35団 佐藤 善喜

2月17日(日)、仙台第30団・第35団では合同でB-P祭を太白区中央市民センターで開催しました。

スカウト、リーダー、父母の総勢56名の参加でした。舞台には国旗・世界スカウト旗・各隊旗・B-Pの写真が、会場内には大会や記念のネッカチーフが飾られました。

B-P祭はセレモニーの後、アンノンスカウトの寸劇やB-Pクイズ、ロープ結び、蛇の皮むきなど全員で楽しく行われ、また、クイズやゲームの優秀者には記念のネッカリングやワッペンがあたえられました。



## 『新年を祝う会』(団創設60周年)

仙台第1団カブ隊副長 山田 浩幸

ボーイスカウト仙台第1団は、平成20年1月5日・泉社会福祉センターにおいて、『新年を祝う会』をスカウト・リーダー・育成会員約100名出席のもとで開催した。

本年は仙台第1団にとっては、団創設60周年に当たる年で、揃って新年を迎えられる事の幸せと喜びをかみしめ、スカウト代表から新年の抱負を発表し、みんなで活動に一層励むこと

を誓い合った。

もちつき大会・全員での会食・スタンプ・ゲーム、更に第21回世界ジャンボリーに参加した、4名の隊員からビデオでの報告や感想を聞き、ジャンボリーに対する認識を新たにしました。なお、会食に当たっても、マイカップ・マイ箸を持参させる等、エコへの関心を高めた。

## 宮城県連盟年次総会開催のお知らせ

日にち：平成20年5月11日(日)

場 所：仙台市民会館

午後、スカウト運動創始100周年クロージングセレモニーを予定しております。

### 編集後記

原稿多数、各地区・団活動のいきいきの姿ありで、そこにあるリーダーの満足の顔もうつる。対談は2号に亘り、次は企画として県連各種委員会の紹介を連載でと言う事で進める事とした。

印刷部数、今号・2200部に増刷致します。みやぎのボーイスカウト運動拡張のため、是非お近くの青少年教育に関心の方にお手渡しを。

『一緒にやらなければ仲間になれない』メミンガーの法則がある。スカウトみやぎを大いに仲間作りのために活用されたし。(堀)

■ 発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■ 編集 宮城県連盟広報委員会

委員長 堀越祐寿

副委員長 渡辺七郎

委員長代行 柿沼富雄

高橋 修・大沼茂雄

砂押名湖・久光和明

〒981-0915 仙台市青葉区通町1-6-9

宮城県通町分庁舎内

TEL/FAX 022-234-2359

■ 印刷 株式会社小野寺印刷所